

講演会案内



力学と岩盤工学の展望：地殻力学および地殻工学

場所：琉球大学工学部 2号館 2階 大会議室

2013年1月9日 午後4時～5時30分



講師：東海大学海洋学部海洋建設工学科・海洋研究所教授
トルコ共和国パムッカレ大学名誉教授

藍檀 オメル (Ömer Aydan)

講師プロフィール：1992年 Erzincan (エルジンジャン) 地震以来、土木学会の派遣団員として数多くの国内外の地震の調査に参加し、土木建造物の耐震性に関して地震動と

永久変形・ひずみを考慮した設計・施工法の研究・開発に取り組んでいる。

受賞等：松前重義賞「学術部門」、岩の力学連合会賞（平成17年度技術賞）、トルコ応用地質学会優秀論文賞、IACMAG（優秀貢献賞）、岩の力学連合会賞（平成24年度フロンティア賞）

講演内容要旨：岩盤力学および岩盤工学は、1966年、リスボンにおいて工学分野の新しい学問として設立された。以来、この学問は設立時の内容を広げて、力学及び工学における主要な一分野となっています。近年においては、岩盤で構成されている地殻を対象に岩盤の挙動や長期安定性、岩盤人工建造物の動的問題、新エネルギー開発、地震予知、海底および他の惑星における資源開発などにも及んでいる。講演では、この学問が新たな展望として地殻力学および地殻工学にどのように深化していくかについて講演する。

連絡先：琉球大学工学部環境建設工学科 仲座栄三

Tel: 098-895-8673

enakaza@tec.u-ryukyu.ac.jp